

第63回 電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会・  
平成17年度 第2回 電気学会 電磁界理論技術委員会  
合同委員会 議事録

日時：平成17年11月16日（水）18：00～19：30

場所：りんどう湖ロイヤルホテル（栃木県那須塩原）

出席者：

山崎 委員長（日本大）<sup>†</sup>、佐藤(亨)委員長（京都大）<sup>‡</sup>、安藤(真)副委員長（東工大）<sup>†</sup>、  
北野 委員（慶応大）<sup>†</sup>、木下 委員（慶応大）<sup>†</sup>、黒田 委員（東京工科大）<sup>‡</sup>、  
後藤 委員（豊橋技科大）<sup>†</sup>、小見山 委員（阪電通大）<sup>†</sup>、佐藤(源) 委員（東北大）<sup>‡</sup>、  
白井 委員（中央大）<sup>†‡</sup>、田中 委員(岐阜大) <sup>†</sup>、辻 委員（同志社大）<sup>†</sup>、  
早川 委員（電通大）<sup>‡</sup>、平田 委員（名工大）<sup>†‡</sup>、平山 委員（北見工大）<sup>†</sup>、  
廣瀬 委員（東京大）<sup>†</sup>、横田 委員（宮崎大）<sup>†</sup>、塩澤元委員長（中部大）<sup>‡</sup>、  
藤崎 幹事（九州大）<sup>‡†</sup>、安藤(芳)幹事（電通大）<sup>‡†</sup>、  
石原 幹事（防衛大）<sup>†‡</sup>、西本 幹事（熊本大）<sup>†‡</sup>、稲沢 幹事補佐（三菱電機）<sup>†</sup>

<sup>†</sup>：電子情報通信学会，<sup>‡</sup>：電気学会

配付資料：

電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会

- No.63-1 第62回電磁界理論研究専門委員会議事録
- No.63-2 次回のKJJC-AP/EMC/EMT（日韓合同研究会）について
- No.63-3 平成18年度研究会活動計画
- No.63-4 2006年光・電波ワークショップおよび今後の共催について
- No.63-5 2005年電子情報通信学会ソサイエティ大会シンポジウムの報告
- No.63-6 2006年電子情報通信学会総合大会一般公募シンポジウム課題提案
- No.63-7 2005年URSI-B National Report について
- No.63-8 URSI-GA 2005の報告
- No.63-9 2010年のURSI EMT-S 招致活動について
- No.63-10 2005年度電子情報通信学会英文論文誌C特集号の報告
- No.63-11 2006年度電子情報通信学会英文論文誌C特集号について
- No.63-12 H P維持管理費補助の申請

電気学会 電磁界理論技術委員会

- No.17-ETC2-1 平成17年度第1回電磁界理論技術委員会議事録
- No.17-ETC2-2-1 第65回電気学会A部門研究調査運営委員会議事録
- No.17-ETC2-2-2 第66回電気学会A部門研究調査運営委員会議事録
- No.17-ETC2-3-1 計算電磁気学（基礎・応用）調査専門委員会 解散報告書
- No.17-ETC2-3-2 ナノメートル電磁波・X線電磁界技術調査専門委員会 解散報告書
- No.17-ETC2-3-3 自然電磁気現象解明と電磁界解析調査専門委員会 解散報告書
- No.17-ETC2-3-4 計算電磁気学の基礎解析技術調査専門委員会 設置趣意書
- No.17-ETC2-3-5 X線電磁界技術調査専門委員会 設置趣意書
- No.17-ETC2-3-6 電磁界逆散乱解析調査専門委員会 設置趣意書
- No.17-ETC2-3-7 自然災害の予測と監視のための電磁界技術調査専門委員会 設置趣意書
- No.17-ETC2-4 平成16年度研究会活動補助金会計報告、及び平成16年度活動資金一覧

電磁界理論研究専門委員会関連議事:

1. 前回議事録承認

- 議事録承認の中で、執行部の人選・任期など運営方法について再度確認した。
- 平成18年度電磁界理論研究専門委員会の委員長は現山崎委員長が続投することが承認された。
- 来年3月の総合大会時の研究専門委員会では来年度の副委員長と幹事(後任)が選任される。

2. 次回のKJJC-AP/EMC/EMT(日韓合同研究会)について

- 山崎委員長より資料No.63-2にもとづき、次回のKJJC(日韓合同研究会)について報告があった。
- KJJCは日本と韓国の電磁界理論関係者の友好を深める目的で始められた。その後APとEMCも加わり日本側は3研究会で開催している。MWも別途韓国で開催している。
- 来年はPIERSが8月、ソサイエティ大会(金沢)が9月、ISAP(シンガポール)が11月に開催される。
- 次回はEMTが担当幹事である。韓国側は日本での開催を希望しており、特に韓国から直行便のある地方で10月か11月を希望している。
- 11月末に各研究会で集まり今後の計画を協議する。堀先生が近隣で会場の手配が可能なこともあり、11月第2週に金沢で開催することを提案予定。

3. 平成18年度研究会活動計画について

4. 第35回電磁界理論シンポジウム開催計画について

- 山崎委員長より資料No.63-3にもとづき、平成18年度の研究会活動計画の報告があった。
- 来年のEMTシンポジウムは10月に中国地区か九州地区を予定している。

5. 2006年光・電波ワークショップおよび今後の共催について

- 西本幹事より資料No.63-4にもとづき、光・電波ワークショップについて報告があった。来年は北見工大で7/27(木)~7/28(金)に実施予定である。
- 直後にPIERS2006-Tokyo(8/2-5 中央大)が控えており、EMT発表件数の確保が懸念される。
- 通ソは共催が不可能であるが、エレソは共催に関する制約はない。来年はエレソのMW、OPEと共催する。
- 山崎委員長より過去の光・電波ワークショップについて補足説明があった。今年までは光・電波ワークショップに併催として参加している。過去、電気学会優秀論文発表賞の対象件数において、共催時は件数を半分としてカウントされていたが、現在はなくなっている。共催時にEMT投稿以外の論文を優秀論文発表賞の対象とするか否か、優秀論文発表賞の審査委員の決め方とあわせ、今後検討していく。
- URSI-Bは昨年より常に共催としている。

6. 2005年電子情報通信学会ソサイエティ大会シンポジウムの報告

- 安藤(真)副委員長より資料No.63-5にもとづき、9月に開催された電子情報通信学会ソサイエティ大会シンポジウムの報告があった。
- マイクロ波関係も含め30人近い参加者があり活発に討論がなされた。
- EMT関係のセッションでは討論が大切であり、最後にこの種の自由討論の枠を設定することが望ましいと思われる。

#### 7. 2006年電子情報通信学会総合大会シンポジウムの課題について

- 山崎委員長より資料 No. 63-6 にもとづき、総合大会のシンポジウムの課題について報告があった。課題名は“混合境界値問題における電磁界解析手法とその応用”
- 総合大会は 3/24(金)–3/27(月)に開催され大学の卒業式が集中する時期である。また、PIERS (ボストン) が 3/25 に開催されることもあり、3/24(金)など早めに開催する予定。

#### 8. 2005年 URSI-B National Report について

- 安藤(真)副委員長より資料 No. 63-7 にもとづき、URSI-B National Report について報告があった。
- 日本の URSI の3年間の活動として CD に監修し、10月にインドで開催された URSI-GA で配布した。
- National Report は Japanese URSI のホームページ (<http://www.kurasc.kyoto-u.ac.jp/ursi>) より、近日中にダウンロードが可能となる。

#### 9. URSI-GA 2005 の報告

- 安藤(真)副委員長より資料 No. 63-8 にもとづき、URSI-GA 2005 の報告があった。
- 大統領が2日間参加し技術講演を行った。1600件程度の発表があり成功に終わった。
- 2005年～2008年の Commission B の委員長はドイツの Prof. K. Langenberg に決定した。
- 選挙の結果、2008年の URSI-GA はシカゴで開催される。
- 2007年の URSI EMTS はエジプトのアレキサンドリアで開催される
- テロの危険性からエジプト開催が延期されるとの憶測もあったが、テロは世界中で起こりうるとの意見から、予定通り開催されることが決まった。セキュリティには十分に配慮することが確認された。
- 2010年の URSI EMTS の開催地として広島を提案している。
- 将来の EMT-S の開催地を決める投票が、URSI-GA 後に実施されるように変更された。今までより決定時期が1年半以上遅くなる。
- Commission B から賞金100万円程度の EM-Prize を出している。
- 2005年～2008年の URSI の Officers が決定。会長はフランスの Prof. F. Lefevre 氏
- vice-chairman として日本から Commission H の大村先生、Commission C の大平様 (ATR) が選ばれた。

#### 10. 2010年の URSI EMT-S 招致活動について (資料 No. 63-9)

- 安藤(真)副委員長より資料 No. 63-9 にもとづき、2010年の URSI EMT-S 招致活動について報告があった。
- 広島原爆記念ドーム近くの国際会議場で2010年の5月或いは8月に提案している。対抗はフランスの Toulouse とドイツの Berlin。12月に投票で開催地が決定される。

#### 11. 2005年度電子情報通信学会英文論文誌 C 特集号の報告

- 廣瀬委員より資料 No. 63-10 に基づき、2005年度電子情報通信学会英文論文誌 C 特集号について報告があった。

- 投稿数33件、採録数23件、2005年12月に掲載される。
- 電磁界理論シンポジウムを中心として、今後も電子情報通信学会英文論文誌C特集号を企画していく。

#### 1.2. 2006年度電子情報通信学会英文論文誌C特集号について

- 山崎委員長より資料 No. 63-11 に基づき、来年の英文論文誌特集号について報告があった。
- 和文タイトル：電磁界理論の進展とその応用、英文タイトル：Special Issue on Recent Progress in Electromagnetic Theory and Its Application として平成19年2月に発行予定。論文投稿期日は平成18年4月10日の予定。
- 特集号の編集委員は2年程度で交代する方針。

#### 1.3. HP維持管理費の申請について

- 稲沢幹事補佐より資料 No. 63-12 に基づきHP維持管理費を申請した旨、報告があった。

#### 1.4. その他

- 佐藤(亨)電磁界理論技術委員会委員長より PIERS2006-Tokyo について説明があった。8/2 から中央大学で開催。セッションオーガナイザーを11/Eまで募集している。目標60件のところ、現在30件程度である。
- 山崎委員長よりエレクトロニクスソサイエティ運営委員会の報告があった
- 来年4月より紙ベースでの論文誌の発行がなくなり、WEBで閲覧可能となる。
- 通信学会のフェローについて推薦があれば山崎委員長まで。
- 早川委員より URSI Commission B に安藤(真)副委員長に続く人を組織的に出していくべきである、とのコメントを頂いた。

#### 電磁界理論技術委員会関連議事：

##### 1. 前回議事録承認

電子情報通信学会の分と合わせて、山崎委員長より説明があり、承認された

##### 2. 第65回、第66回電気学会A部門研究調査運営委員会報告

佐藤(亨)委員長より、資料 No.17-ETC2-2-1, No.17-ETC2-2-2 に基づき運営委員会が行われたことが報告された。

##### 3. 調査専門委員会報告

佐藤(亨)委員長より、資料 No.17-ETC2-3-1～No.17-ETC2-3-7 に基づき、3つの調査専門委員会の解散と4つの調査専門委員会の設置が報告され、興味のある委員は各委員会に参加してもらうよう要請があった。

##### 4. 平成16年度会計報告

佐藤(亨)委員長より、資料 No.17-ETC2-4 に基づき、昨年度の会計報告がされた。

##### 5. A部門編集委員選出

佐藤(亨)委員長より、来年3月で任期(2年)が満了する服部編集委員(千葉大)の後任を選出する必要がある旨が説明された。各委員には候補者を探してもらうよう要請された。後にメールにて審議を行う。

##### 6. その他

- 電気学会全国大会、A部門大会の開催予定が報告された。
- A部門誌特集号の提案を行うよう、各委員に要請された。
- 優秀論文発表賞の割り当てが後日発表されることが報告された。

以上